



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月10日

上場会社名 株式会社ワイヤレスゲート 上場取引所 東
 コード番号 9419 URL http://www.wirelessgate.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 池田 武弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO執行役員管理本部長 (氏名) 小島 聡 TEL 03-6433-2045
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	3,052	0.8	217	△28.6	177	△27.4	94	△36.8
28年12月期第1四半期	3,029	15.7	304	46.3	244	17.7	149	14.1

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 89百万円 (△39.4%) 28年12月期第1四半期 147百万円 (12.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	9.18	8.59
28年12月期第1四半期	14.56	13.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	6,092	2,903	45.6
28年12月期	6,207	3,003	47.8

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 2,779百万円 28年12月期 2,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	0.00	-	27.00	27.00
29年12月期	-	-	-	-	-
29年12月期(予想)	-	0.00	-	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,305	2.9	268	△57.8	188	△64.8	123	△62.6	11.97
通期	13,097	7.0	650	△48.0	513	△53.3	336	△51.5	32.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 除外 ー社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年12月期 1 Q	10,420,400株	28年12月期	10,420,400株
② 期末自己株式数	29年12月期 1 Q	116,300株	28年12月期	116,300株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年12月期 1 Q	10,304,100株	28年12月期 1 Q	10,278,627株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8
3. 参考資料	巻末

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2017年1月1日~2017年3月31日)における業績は、

売上高	3,052,812千円	前年同期比 23,432千円増 (0.8%増)
営業利益	217,484千円	前年同期比 87,259千円減 (28.6%減)
経常利益	177,881千円	前年同期比 67,018千円減 (27.4%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,554千円	前年同期比 55,056千円減 (36.8%減)

となりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ワイヤレス・ブロードバンド事業(BtoC事業)に関しては、競争環境の変化による影響を受ける中、新規顧客獲得に努めました。また、ワイヤレス・ビジネスドメイン事業(BtoB事業)に関しては、IoT向けインフラ事業、Wi-Fiインフラ事業の収益基盤の拡大を図ってまいりました。

売上高につきましては、ワイヤレス・ブロードバンド事業(BtoC事業)が前年同期比を下回った一方で、ワイヤレス・ビジネスドメイン事業(BtoB事業)が前年同期に比べ大きく進捗したことにより、前年同期比23,432千円増(0.8%増)の3,052,812千円となりました。

利益面につきましては、利益率の高い公衆無線LANサービスの売上高が減少したこと等により、売上総利益は前年同期比9,589千円減(1.2%減)の764,442千円となりました。

また、ワイヤレス・ブロードバンド事業(BtoC事業)において、新サービスの開始に伴う一時的なコストを見込んでいたものの当該コストが発生しなかった一方、「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」における顧客獲得コストの増加、子会社LTE-Xにおける業務展開コストの増加等により、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ77,669千円増(16.6%増)の546,958千円となり、その結果、営業利益は前年同期比87,259千円減(28.6%減)の217,484千円となりました。

経常利益は、営業外費用である持分法による投資損失38,721千円が計上されたこと等により、前年同期比67,018千円減(27.4%減)の177,881千円となっております。

当社グループは、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであります。売上高につきましては区分して記載しており、それぞれの事業ごとの取組みは次のとおりであります。

なお、法人顧客向け事業の売上高の明瞭化を図るため、前第4四半期連結会計期間より売上高の管理区分を見直しております。※

① ワイヤレス・ブロードバンド事業

当第1四半期連結累計期間におけるワイヤレス・ブロードバンド事業の売上高は2,929,500千円(前年同期比2.7%減)となりました。

イ. モバイルインターネットサービス

「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」については、新規会員の更なる獲得を図るべく家電量販店における積極的なキャンペーンの展開、及び既存顧客の退会防止に注力してまいりました。

「ワイヤレスゲートSIM」については、新サービスの開始を予定していたものの、消費者ニーズのトレンドを注視していく中でサービス構成の見直しに時間を要することから、現行の販売プースの構成をより有効的に活用する方向で取り組んでいくべく方針の転換を行いました。また、当第1四半期連結累計期間において、通信事業者との間で、通信回線の借受費用に関する過年度・当年度分の遡及精算が行われております。

競争環境の変化による影響を引き続き受けたことにより、当第1四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットサービスの売上高は2,749,080千円(前年同期比1.9%減)となりました。

ロ. 公衆無線LANサービス

家電量販店における新規会員の獲得が鈍化していること等から、当第1四半期連結累計期間における公衆無線LANサービスの売上高は154,278千円(前年同期比13.5%減)となりました。今後、家電量販店以外の販路の拡充により収益の拡大を目指してまいります。

ハ. オプションサービス

家電量販店等において取り扱いを行っている「電話リモートサービス」、「スマート留守電」等の販売になります。当第1四半期連結累計期間におけるオプションサービスの売上高は26,141千円(前年同期比5.8%減)となりました。

② ワイヤレス・ビジネスドメイン事業

当第1四半期連結累計期間におけるワイヤレス・ビジネスドメイン事業の売上高は111,969千円(前年同期比499.6%増)となりました。

イ. 認証プラットフォームサービス

他の通信事業者へ認証プラットフォームを提供しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、大型案件の売上を計上しております。この結果、当第1四半期連結累計期間における認証プラットフォームサービスの売上高は46,758千円(前年同期比287.2%増)となりました。

ロ. その他法人向けサービス

「Wi-Fiインフラ事業」、「IoTサービス」及び「法人向けSIMサービス」の提供となります。段階的に拠点数及び顧客数を拡大させており、当第1四半期連結累計期間におけるその他法人向けサービスの売上高は65,210千円(前年同期比888.7%増)となりました。

③ その他

小型の紛失防止IoTデバイス「MAMORIO」や「ガラポンTV」等、主に物品の販売を行っております。1月より家電量販店において取り扱いを開始した「MAMORIO」の販売が好調であったことにより、当連結会計年度におけるその他の売上高は11,343千円(前年同期比705.1%増)となりました。

※新旧区分による売上高

(下線は、変更部分を示しております。)

旧区分による売上高		新区分による売上高	
① ワイヤレス・ブロードバンド事業	2,903,358千円	① ワイヤレス・ブロードバンド事業	2,929,500千円
イ. モバイルインターネットサービス	2,749,080千円	イ. モバイルインターネットサービス	2,749,080千円
ロ. 公衆無線LANサービス	154,278千円	ロ. 公衆無線LANサービス	154,278千円
		ハ. オプションサービス(注)1	26,141千円
② ワイヤレス・プラットフォーム事業	72,899千円	② <u>ワイヤレス・ビジネスドメイン事業</u>	111,969千円
		<u>イ. 認証プラットフォームサービス(注)2</u>	46,758千円
		<u>ロ. その他法人向けサービス(注)3</u>	65,210千円
③ その他	76,553千円	③ <u>その他(注)4</u>	11,343千円
合計	3,052,812千円	合計	3,052,812千円

(注) 1. 電話リモートサービス、スマート留守電等の販売になります。旧区分においては、「② ワイヤレス・プラットフォーム事業」に含めて計上しておりました。

2. 認証プラットフォームの販売になります。旧区分においては、「② ワイヤレス・プラットフォーム事業」に含めて計上しておりました。

3. Wi-Fiインフラ事業、IoTサービス及びプリペイドSIMサービスの提供となります。旧区分においては、「③ その他」に含めて計上しておりました。

4. 「MAMORIO」や「ガラポンTV」等、主に物品の販売になります。旧区分における「③ その他」から、新区分における「② ワイヤレス・ビジネスドメイン事業 ロ. その他法人向けサービス」を差し引いたものが、新区分における「③ その他」となります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ115,495千円減少し6,092,376千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ84,553千円減少し3,301,774千円となりました。これは主に、売掛金が19,764千円及びその他流動資産が69,482千円増加した一方で、現金及び預金が174,695千円減少したためであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ30,942千円減少し2,790,602千円となりました。これは無形固定資産が26,299千円増加した一方で、のれんの償却に伴い関係会社株式が38,721千円、投資その他の資産のその他が12,987千円及び有形固定資産が5,532千円減少したためであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ15,867千円減少し3,188,843千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ44,102千円増加し2,277,527千円となりました。これは買掛金が26,046千円及びその他流動負債が156,492千円増加した一方で、未払法人税等が138,436千円減少したためであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ59,969千円減少し911,316千円となりました。これは主に、長期借入金が60,000千円減少したためであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ99,628千円減少し2,903,533千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益94,554千円の計上があった一方で、配当279,919千円の支払により利益剰余金が185,365千円減少したこと、非支配株主持分が87,707千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月13日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありませんが、現段階での主な差異は以下のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ワイヤレス・ブロードバンド事業(BtoC事業)に関しては、競争環境の変化による影響を受ける中、新規顧客獲得に努めました。また、ワイヤレス・ビジネスドメイン事業(BtoB事業)に関しては、IoT向けインフラ事業、Wi-Fiインフラ事業の収益基盤の拡大を図ってまいりました。

・売上高

ワイヤレス・ブロードバンド事業(BtoC事業)における「ワイヤレスゲートSIM」について、新サービスの開始を予定していたものの、消費者ニーズのトレンドを注視していく中で、現行の販売プースの構成をより有効的に活用すべく、同事業におけるサービス構成の見直しに時間を要することから、当初の想定と異なって推移しております。一方で、ワイヤレス・ビジネスドメイン事業(BtoB事業)については、法人ビジネスのため受注や検収のタイミングが想定と異なる可能性があるものの、産業用IoT向け検証キットの販売を開始するなど、事業展開が順調に推移してきております。

・利益面

ワイヤレス・ブロードバンド事業(BtoC事業)における「ワイヤレスゲートSIM」について、新サービスの開始に伴う一時的なコストを見込んでいたものの当該コストが発生しなかったこと、ワイヤレス・ビジネスドメイン事業(BtoB事業)が大きく進捗していること、子会社LTE-Xにおける業務展開コストが想定よりも抑えられていること等により、営業利益につきましては業績予想に対し高い進捗率で推移しております。なお、今後は販売プースの有効活用を検討しており、新サービスの開始に伴う一時的なコストで見込んでいた範囲内で、新たに関連費用が発生することが見込まれます。

また、営業外損益はほぼ想定どおりに推移しており、営業利益が業績予想に対し高い進捗率で推移していることから、経常利益についても業績予想に対し高い進捗率となっております。

引き続き、個人向けサービスを安定的に拡大させるとともに、法人向けサービスの強化を図ることで持続的な成長を目指してまいります。

(連結業績予想)

	平成28年12月期 (実績)	平成29年12月期 (予想)	対前期増減率
売上高	12,239百万円	13,097百万円	7.0%
営業利益	1,250百万円	650百万円	△48.0%
経常利益	1,098百万円	513百万円	△53.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	693百万円	336百万円	△51.5%

(配当予想)

	平成28年12月期 (実績)	平成29年12月期 (予想)
期末	27円00銭	28円00銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,914,944	1,740,248
売掛金	1,091,803	1,111,567
商品	260,126	265,014
仕掛品	9,381	5,377
その他	116,673	186,155
貸倒引当金	△6,602	△6,590
流動資産合計	3,386,327	3,301,774
固定資産		
有形固定資産	357,356	351,824
無形固定資産	50,006	76,305
投資その他の資産		
関係会社株式	1,554,658	1,515,937
その他	859,523	846,536
投資その他の資産合計	2,414,182	2,362,473
固定資産合計	2,821,545	2,790,602
資産合計	6,207,872	6,092,376
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,532,538	1,558,584
1年内返済予定の長期借入金	240,000	240,000
未払法人税等	220,985	82,549
その他	239,901	396,393
流動負債合計	2,233,425	2,277,527
固定負債		
長期借入金	960,000	900,000
資産除去債務	11,285	11,316
固定負債合計	971,285	911,316
負債合計	3,204,710	3,188,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	871,465	871,465
資本剰余金	810,685	810,685
利益剰余金	1,564,594	1,379,228
自己株式	△279,076	△279,076
株主資本合計	2,967,668	2,782,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△988	△2,658
その他の包括利益累計額合計	△988	△2,658
新株予約権	7,235	6,935
非支配株主持分	29,245	116,953
純資産合計	3,003,161	2,903,533
負債純資産合計	6,207,872	6,092,376

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	3,029,380	3,052,812
売上原価	2,255,347	2,288,370
売上総利益	774,032	764,442
販売費及び一般管理費	469,288	546,958
営業利益	304,744	217,484
営業外収益		
受取利息	86	4
未払配当金除斥益	-	375
その他	71	5
営業外収益合計	158	385
営業外費用		
支払利息	1,186	949
持分法による投資損失	38,721	38,721
株式交付費	44	218
上場関連費用	18,649	-
自己株式取得費用	1,397	-
その他	3	98
営業外費用合計	60,002	39,988
経常利益	244,899	177,881
特別利益		
新株予約権戻入益	-	300
特別利益合計	-	300
税金等調整前四半期純利益	244,899	178,181
法人税、住民税及び事業税	81,325	76,333
法人税等調整額	13,963	9,729
法人税等合計	95,289	86,062
四半期純利益	149,610	92,119
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	149,610	94,554
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△2,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,647	△2,415
その他の包括利益合計	△1,647	△2,415
四半期包括利益	147,963	89,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,963	92,883
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△3,180

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

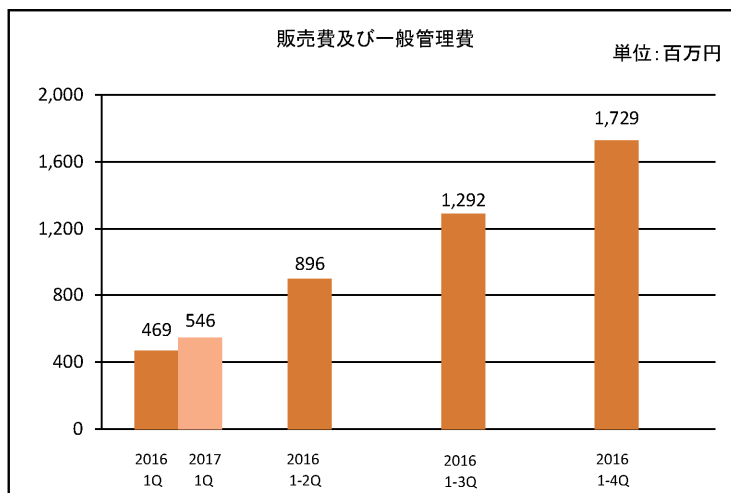
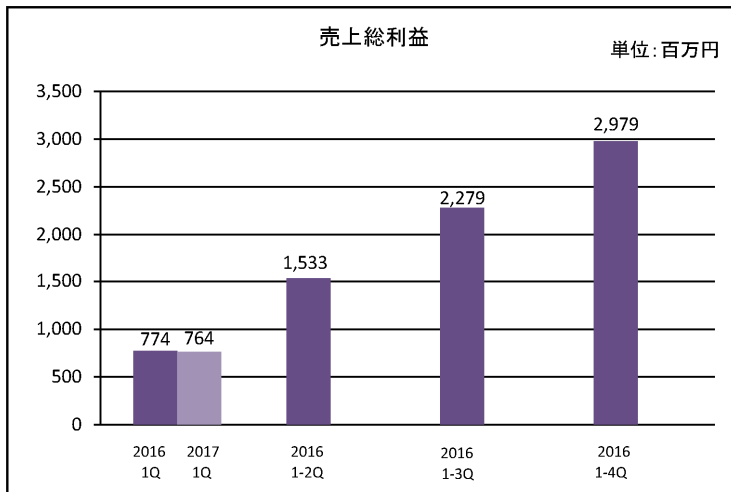
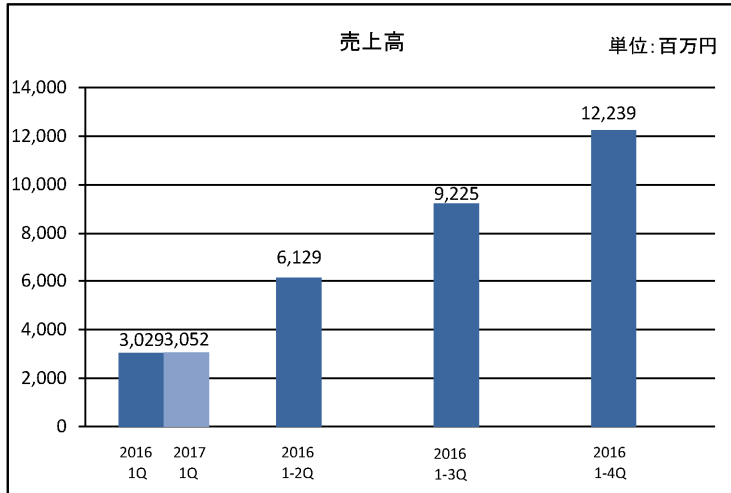
当社グループは、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

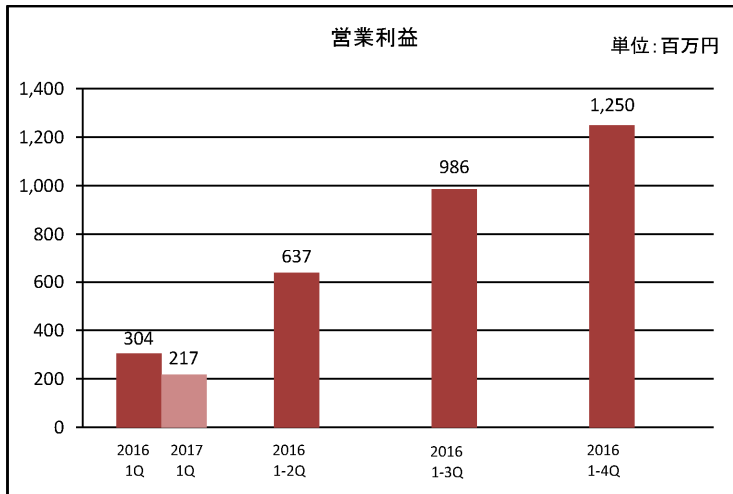
(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 参考資料

① 業績比較 (累計)





※上記の営業利益のうち、SIMに関わる事業の営業損益は以下のとおりであります。

単位：(百万円)

	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
2017年	△28	—	—	—
2016年	△44	△103	△160	△215

(注) 個人向け及び法人向けのSIMに関わるサービスを合算しております。

なお、各年度の第1四半期連結会計期間において、通信事業者との間で通信回線の借受費用に関する過年度・当年度分の遡及精算が行われております。

